

かわきた

川北さくら祭

主催／豊かな町づくり推進本部



●3月議会定例会……………P2

●町政を問う！（いっぱん質問）…P8

3月議会定例会 8日～14日

平成28年第1回(3月)議会定例会は3月8日に開会し、平成28年度一般会計予算・特別会計予算の7件をはじめとして、条例、規約の改正と制定が12件、平成27年度一般会計補正予算・特別会計補正予算が7件、議員提出議案が1件の合わせて27件が上程されました。議案は、各所管の常任委員会で審議され、全て原案どおり、全員賛成で可決しました。

「子育て支援」「教育と福祉」

～地方創生における、人口ビジョンなどに掲げる目標の実現～

「安全・安心」「産業の育成」

～地域の実情に応じた取組みを進める～

施策の充実した町づくり

平成28年度 当初予算

一般会計 予算総額

38億1,000万円(前年比7.2%減)

特別会計 予算総額

13億7,300万円(前年比5.5%増)



川北さくら祭

会 計 名		予 算 額	前年度比較
一 般 会 計		38 億 1,000 万円	△ 7.2%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	5 億 8,400 万円	△ 0.5%
	簡易水道事業特別会計	8,250 万円	200.0%
	農業集落排水事業特別会計	1 億 5,900 万円	9.7%
	介護保険事業特別会計	4 億 4,000 万円	1.7%
	介護保険サービス事業特別会計	5,550 万円	1.5%
	後期高齢者医療特別会計	5,200 万円	△ 3.7%
小 計		13 億 7,300 万円	5.5%
合 計		51 億 8,300 万円	△ 4.2%

一般会計の財源(収入)

町 税	14億7,000万円 12億8,000万円
地方交付税	6億8,000万円 7億2,000万円
国庫支出金	4億8,752万円 5億4,995万円
町債(借入金)	3億9,540万円 6億5,710万円
県支出金	2億 126万円 2億3,691万円
使用料及び手数料	1億3,501万円 1億3,373万円
繰入金・繰越金など	1億6,740万円 3億1,256万円
その他交付金	1億4,420万円 9,930万円
分担金及び負担金	6,703万円 7,268万円
諸 収 入	4,268万円 2,627万円
地方譲与税	1,950万円 1,850万円

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 40(億円)



わくわく子育て教室

予 算 総 額

38億1,000万円
41億 700万円

一般会計の使いみち(支出)

予 備 費	500万円 500万円
商 工 費	1億5,096万円 5,706万円
議 会 費	7,035万円 7,488万円
消 防 費	3億6,205万円 2億 275万円
土 木 費	2億 554万円 3億2,533万円
農林水産業費	2億4,248万円 2億3,496万円
公債費(借入金の返済)	4億3,500万円 5億 600万円
総 務 費	5億 522万円 4億9,545万円
衛 生 費	4億8,520万円 4億6,725万円
教 育 費	2億8,233万円 7億7,412万円
民 生 費	10億6,587万円 9億6,420万円

0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 40(億円)



バス路線の延伸

町民1人当たり
607,000円

(※平成28年4月1日現在)

28年度

27年度

一般会計当初予算のおもな施策

① 安全・安心な町づくり

平成27年度からの継続工事で、平成28年度に運用開始予定の防災行政無線の整備事業費に2億3千810万7千円。

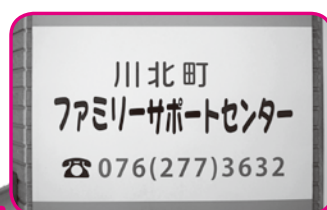
また、橋梁の点検業務費に1千100万円、避難所に備蓄する毛布の購入費や、高齢者の運転免許自主返納事業費を新たに予算化し、万が一に備えた安全対策を講じます。

② 子育て支援と福祉

不妊症及び不育症治療費給与金は、受給対象者を拡充したほか、ファミリーサポートセンター事業費と共に増額し、子育て支援の充実を図ります。

更に、スクールバスの購入費800万円、そして川北町児童館の増築や、川北保育所の空調設備

改修に係る実施設計業務費も新たに予算化。



③ 農業や商・工業の振興

自然環境の保全に配慮した農業生産活動に取り組み、環境保全型農業への交付金を増額します。

また、新たに創業・起業しようとする中小事業者を支援する補助金などに、合わせて120万円を計上し、産業の振興と雇用の創出対策を講じます。

④ 教育環境の充実

町民アンケートでの意見を反映し、バス路線を町内まで延伸させる為の運行負担金238万円と、学習や指導に活用するLANシステムの導入や、学習環境に恵まれない、ひとり親の児童に対する学習支援費を予算化し、教育の充実を図ります。

⑤ 健康づくりの推進

健康で豊かな生活を過ごすには、病気の予防、早期発見に繋がる健康診断が、とても大切であることから、受診者が増えている短期人間ドック助成事業、各種健診事業や予防接種事業などの費用は、引き続き予算化。

⑥ 生活環境の整備

集落内の区道・水路の改修助成金や町道の維持整備費、また、体育施設のトイレ洋式化工事費なども予算化。

特別会計当初予算のおもな施策

○ 国民健康保険 特別会計

人間ドックの助成事業費として、1千587万6千円。



○簡易水道事業等 特別会計

ろ過設備を設置する費用5千万円のほか、水道本管の布設工事費も予算化。

○農業集落排水事業 特別会計

9つの処理場で、機能保全調査を実施する費用などを予算化。

○介護保険事業 特別会計

各種サービス給付費を増額し、介護予防事業、包括的支援事業についても必要額を予算化。

条例の改正（主なもの）

○不妊症及び不育症治療費給与金支給条例の一部改正

受給資格を「第1子に限る」との規定を廃止し、対象の拡大を図ります。



○本社機能立地促進のための町税の課税の特例に関する条例

地域再生法に基づき、本社機能の移転・拡充など、特定業務施設の整備する認定事業者に対し、課税の特例などの優遇措置により、企業を誘致します。

平成27年度一般会計

補正予算のおもな施策

補正額 1億5千120万円
予算累計 45億1千230万円

○総務費

情報セキュリティ強化対策費として、6千782万5千円。

○農林水産業費

優れた担い手を育てるため、農業用機械などの購入を助成する費用を新たに予算化。

○土木費

工業用水道事業の創設に要する、会計システムの導入や、条例の整備に係る業務委託費に486万円、除雪費用が不足するため、458万8千円を追加補正。

○教育費

簡易グラウンドの改修に係る費用負担や、全国中学校体育大会等出場助成金を補正。

平成27年度特別会計

補正予算のおもな施策

補正額 3千285万5千円
予算累計 14億2千21万5千円

○国民健康保険 特別会計

一般被保険者療養給付金と、精算に伴う療養給付費等負担金の返納金などに、合わせて500万円を補正。

○介護保険事業 特別会計

各サービス給付費などが不足するため、合計2千600万円を補正。

議員提出議案（規則の改正）

○川北町議会会議規則の一部を改正
議会における欠席の届出の取扱いに関し、出産の場合の欠席の届出について新たに規定。

委員会審議

主なもの

Q & A

総務産業常任委員会

Q 購入予定のバスは、どのような仕様ののか。

A 現在のスクールバスは、中型バスですが、今回は、マイクロバスとなる予定です。

Q イベント事業開催費について

A かわきた元気まつりなどのイベント事業に使用されます。

Q 橋梁業務点検委託について

A 対象となる橋梁については、町道に架かる32箇所、これらは、業者に点検業務を委託する予定です。



※ Ica(アイカ)…北鉄バスの I C(Integrated Circuit) カード乗車券で、カードリーダー(読み取り装置)にタッチするだけで、運賃が精算されます。

Q 首都圏アンテナショップへの当町からの出品物については。

A 当町からは、わくわく手作りファームの地ビールが出品されています。

Q 運転免許自主返納支援事業については。

A 運転免許自主返納の際の1回に限り、返納者に1万円分の『Ica』を進呈するものです。

Q ろ過設備設置工事とは。

A ひばりタウンのポンプ場に設置予定で、先に中島区で導入した砂ろ過タイプと同型のものを予定しています。

Q 集落排水について、管路や公共柵の設置については。

A 本管から公共柵までの接続は、加入者の負担となります。

Q 担い手確保経営強化支援事業費補助金については。

A 農業機械などの購入に際し1/2の補助を受けられるものです。



Q シーズンの消雪について

A 当初は、地下水の不足が懸念されたため、機械による除雪作業も準備していましたが、現在は、水位も戻ってきており、今のところは、問題ありません。



Q サンハイム川北の改修工事の内容は。

A 外壁塗装や屋上防水などの改修を、町営住宅の長寿命化計画に基づいて実施しています。

Q 公共施設等総合管理計画策定支援業務とは。

A 平成27年度から継続事業であり、公共施設全体の更新や統廃合・長寿命化を計画的に進め、今後の修繕費などの平準化を図るものです。

教育民生常任委員会

Q 防音事業関連維持費補助金の使途については。

A 小・中学校の空調設備などに係る電気料に対して、一定の補助がされるものです。

Q 小・中学校ICT活動とは。

A 小・中学校において、パソコン操作を指導してもらう活動です。

Q 児童館のパート雇用については。

A パート雇用者として、5名を予定しています。

Q 子宮頸がん予防ワクチン接種については。

A 国からの通知により、積極的な勧奨は控えています。

Q 不妊症及び不育症治療費給付金については。

A これまでの、第1子のみに助成するといった制限を外す（第2子以降も有効）というものです。

Q ファミリーサポートセンター事業については。

A 保育時間以外で幼児の保育が必要になった家庭の支援を行うものです。

町内では、NPO法人「子ども館」がありますので、子ども館との連絡・調整を行っています。

Q 町人材育成派遣費助成金については。

A 21世紀石川少年の翼や興城市への児童・生徒の派遣のための費用に充てられます。

Q 高齢者肺炎球菌予防接種費用助成金については。

A 65歳以上の方なら予防接種は可能で、2千円の個人負担が必要となります。

Q 介護サービス及び介護予防サービスについて、特定入所者介護サービス費とは。

A 施設に入所されている方々の食費と居住費について、所得に応じて補助される費用のことです。

Q 簡易グラウンドの改修事業については。

A 総工費5千800万円の内、

1/2の2千900万円を町が負担します。

手取川簡易グラウンドを視察



今回のグラウンド整備については、排水を中心とした、大がかりな改修が行われており、完成後には、これまで以上に良好なグラウンドコンディションの中で、活動が行われるものと期待されます。



3月10日、3月議会定例会、教育民生常任委員会の終了後、同委員により、手取川簡易グラウンドの現地視察が行われました。

町政を問う！

質問 山村 秀俊議員 やまむら ひでとし

個人番号カードへの普及対策は！



通知カードの現状は。

また、1月より交付が開始された「個人番号カード」ですが、万が一の災害時の身分証明や安否確認、医療・福祉などに、特に高齢の方や、障害のある方には、必要なカードだと思われます。

今後、様々な運用も拡大されることから、「個人番号カード」の申請状況と普及対策について、町としての考えは。

答弁 山下 利彦 佐良課長 やました としひこ

個人番号カードの普及に努めたい

町では通知カードを世帯ごとに届けており、これまでに不在の方や居所不明の理由により、112通が返戻され、その後の対応で、現在は、役場で6通を保管しています。

また、個人番号カードに関する状況ですが、3月1日現在、207名の申請があり、この内87名が交付を受けています。

個人番号カードは、マイナンバーを記載した書類の提出や、公的身分証明書として利用できることなど、将来的にも様々な用途が検討されています。

町では、今後とも広報誌などを通じて、普及に努めます。

質問 山村 秀俊議員 やまむら ひでとし

県などとの人事交流は！

県などとの人事交流については、より深度のある実務の習得や、新たな見方・考え方、そして人脈づくりなどの人的資源の確保・充実のために、非常に重要なことだと思われます。

今後、市との人事交流も含めて、県などへの派遣や、出向受け入れによる確保・拡大の見通しについて、町としての考えは。



答弁 前 哲雄 町長 まえ てつお

人事交流についても検討する



現在、石川県に職員を派遣している自治体は、9市6町の併せて15市町、合計21人で、石川県から職員の出向を受け入れている自治体は、3市1町です。

町では、国や県同様、行政改革に取り組んでいます。近年、自治体が抱える課題も複雑、多様化しており、職員定数の見直しも、必要かと思っています。

しかし、出来る限り現体制で、町民の皆様が求める、行政サービスの向上に努めたいと考えています。

ただ、必要とあれば、人事交流についても検討します。

質問 西田 時雄 議員

町内循環バスの

運行は！



4月からは、通勤・通学の利便性を考慮し、川北温泉より金沢方面行きのバスが、朝夕毎に2便が運行されると聞きます。

しかし、町外の公共交通機関とのアクセスは、未だ良いとは言えず、また、冬期間の中学生の自転車通学、運転免許証を返納された方や高齢者の方々などの日常生活にも支障をきたしています。

今、町民の利便性を考えるならば、町循環バスの運行は必要不可欠であると考えますが、町当局の考えは。



まえ つのお

答弁 前 哲雄 町長

路線や費用などについて調査、検討する

町民アンケート調査で要望が多かった、コミュニティバスの運行については、近隣の自治体でも、管理運営や経費についての負担が大きく、大変、苦勞されていると聞いています。

それでも、多くの町民の皆様方に利用され、喜んでいただけるようであれば、今後、所管となる国の地方運輸局や石川県とも相談をしながら、町内の路線や、その費用

などについて調査し、検討します。

質問 西田 時雄 議員

防災マップの

見直しは！

現在、町全戸に配布されている防災マップは、震度6の地震を想定した内容で、町民の避難経路や指定避難所が設定されています。

しかし、手取川の氾濫による水害などを考えると、町民の避難経路や緊急指定避難所などを再度検討し、町の公共施設だけではなく、町内や近隣市の一般企業、自治体などとも協議・連携し、災害協定を結ぶ事も重要と考えますが、町当局の考えは。

答弁 吉田 晃 総務課長

今後も防災力の向上に取り組む

町では、平成25年3月に各地区

の海拔や海岸線からの距離、手取川の氾濫を想定した浸水想定区域における水深、医療機関などの緊急連絡先、そして地区ごとの避難ルートに加え、地震や火災など非常時の心得などを、きめ細かく示した、防災（ハザード）マップを作成し、全戸に配布しました。

現在、指定避難所の小・中学校のほか、保育所、保健センター、それに百寿会館を福祉避難所として定め、町民の方々を受け入れられる体制を整えています。

また、南加賀地区の3市や白山市、野々市市とも、食料や生活物資の提供、そして、被災者の一次収容の為の施設及び住宅の提供などに係る、災害時相互応援協定を締結しているほか、JAや生協、町建設連合会など民間の事業者とも、応援協定を結んでいます。

今後も自主防災組織への支援、連携を図りながら、防災力の向上に取り組めます。

質問 苗代 実議員
なわしろ みのる

当町の検診の

成果は！



当町の検診の受診率は。

また、その割合は、他市町に比べてどうか。

答弁 大山 保
おおやま たもつ 保健センター館長兼福祉課長

町民の主体的な健康づくりの促進を図る

平成25年度の各種検診の受診率状況では、胃がん検診が25・7%、大腸がん33・0%、肺がん32・7%、子宮がん60・1%、乳がん48・7%、また、国民健康保険の特定健康診査で53・5%であり、いずれも県内の平均受診率を大きく上回っています。

質問 苗代 実議員
なわしろ みのる

工業用水道事業の

現状は！

地下水位の低下による、消雪井戸の調査結果は。

そして、工業用水道水源さく井戸の調査結果は。

答弁 前 哲雄町長
まえ てつお

新年度に工業用水道事業を開始できるよう、鋭意努力する

昨年の5月以降、地下水の低下が見られ、揚水不能箇所が3箇所ありました。

しかし、降雪時には水位も回復し、通常どおりの運用ができました。

質問 苗代 実議員
なわしろ みのる

児童館の増築は！

児童館の建設時期と用地の買収の必要性。そして、規模は。

答弁 前 哲雄町長
まえ てつお

常に地域の子ども達 がより良い環境で

施設を利用する児童の増加によ

また、工業用水道事業については、昨年の12月に1号水源井戸の掘削を開始し、年明けには完了しました。

2号水源井戸については、3月6日に掘削が終了し、3月末までには、完了する予定です。

今後は、予備の井戸について地区などと調整を行い、新年度には工業用水道事業を開始できるよう、鋭意努力します。



増築予定地

り、その増築と空調設備の復旧工事を実施するもので、平成28年度に実施設計、平成29年度に工事を予定しています。

建設用地については、現在の敷地内で計画しており、増築部分には、約120㎡の広さの遊戯室を建設する予定です。

質問

作田 毅さくだ つよし議員

能美広域事務組合の 今後は！



先般、能美広域事務組合の解散の新聞報道がありました。

我々議員も含め町民の皆さんも大変心配しています。

現時点での町執行部の考えは。

答弁 前 哲雄町長まえ てつお

慎重に対処します

昨年の5月29日、能美市側より、能美広域消防の分署の統廃合をしたいとの申し出がありました。

提案された案は、全ての分署を廃止し、新しく寺井に建設中の能美市防災センター1箇所、救

急・消防業務を集約するという案でした。

これでは、川北町に広域の救急・消防の拠点となる箇所が、全くなくなるということになり、論外だと反対しました。

そして、第2案として出されたのは、現在の辰口分署と川北分署を統合し、三反田地区に新たに、川北町が出張所を建てるというもので、広域の救急車と消防団の消防車を各1台置き、署員が3名常駐するという案でした。

その後、出張所ではなく分署にして、広域の消防車も置くという話がありましたが、人員の配置は相変わらず3名のみでした。

その一方で、能美市防災センターに入る消防本部には、日勤職員22名のほか、消防署員15名が常駐するという案であり、川北と辰口方面の救急・消防活動



が、極端に手薄になる、大変無謀な計画でした。

また、川北町の西部地区は能美市防災センターに近いとはいえ、これまで安全・安心のよりどころになっていた川北分署が、東部地区に移動することに対し、大変不安に感ずることは、言うまでもありません。

町としては、できるだけ協力したいという思いがありましたが、町民の安全・安心を考えたとき、到底、受け入れられるような内容ではありませんでした。

また、担当部課長の話し合いの初期の段階から、『辰口分署と川北分署を統合して、

三反田地区に新しく出張所を建設できないければ、組合を解散する。これは市長の考えである。』と提示されており、話し合いの度に、能美市側の案を受け入れないならば、解散しか

ないと、一方的に通告されており、話し合いの余地もありませんでした。

また、能美市防災センターに能美消防本部が間借りすること、広域事務組合の分署の統廃合をする話は、全く別の次元の問題であり、しかも防災センターの建設が、かなり進んだ段階になってから、分署の統廃合の話を、初めて出してきました。

住民にとって最も重要となる案件を、計画性のない進め方で提案し、しかも、たいへん性急に同意を求めていることも、大きな混乱を招く原因にもなっています。

町民の生命と財産を守る救急や消防、そして毎日の生活に直接に関わるゴミ処理など、大事な業務を扱っており、途切れなく、確実に対処していかなければならぬ、重要な案件だと考えています。

今後、議員の皆様とも十分に相談しながら、町民にとって最もよいと思われる方向へ、慎重に対処します。

みんなの広場

● ウェイトリフティング協会 ～短時間で効率的なトレーニングを～



川北町ウェイトリフティング協会は、昭和56年に発足し、現在は、中学生から一般成人までの広い年齢層の方が行っています。

石川県内では、珠洲市、金沢学院大学、小松工業・津幡高校などと連携し、多様な年齢層の選手が練習に取り組んだ結果、選手各々が優秀な競技成績を収める結果に繋がりと、今では、全国から強豪県と認識されるよう

になりました。

この種目の特徴としては、短時間で効率的なトレーニングが可能であり、女性や高齢者にも安全に行えることです。

皆さんも、トレーニングやストレッチを気軽に始めてみませんか。



● 民 舞 の 会

～踊り好きな方が集い楽しみながら～

川北町民舞の会の前身である下田子島民謡会として活動を始めたのは、昭和49年5月のことです。以来、踊りの好きな方が集い、楽しみながら日々練習しています。

昭和59年には、町文化団体協議会にも入会し、名称も現在のものとなり、芸能おさらい会をはじめ、近辺の施設へボランティアとして出向き、子どもたちと共に活動し、とても喜ばれており、それが日々の励みにもなっています。

毎週月曜日の午後8時～10時まで、下田子島構造改善センターにて練習していますので、お気軽においでください。



お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111

西田 時雄 記

今年の江ざらい(川掃除)は、昨年発生した白山麓の土砂崩れの影響からか、例年になく粘土質の土砂が多く堆積しており、それぞれの地区においては、その除去作業に随分と苦労された事と思います。

さて、我が地区では、全世帯にこの江ざらいへの参加・協力を要請したところ、若い世代や親子で参加される方々など、多くの区民で賑わいました。

そのおかげもあり、作業が順調に進み、無事、予定通りその作業を終えることが出来ました。

それと同時に、年配の方や若い人達との交流も生まれ、共同作業による地域の繋がりが、結束する大切さを強く感じることでできた有意義な1日となりました。

編集後記

議会を傍聴しましょう◆

次回の定例会は6月です。お気軽にお越しください。